

## SARS-CoV-2 核酸検出における問題点と精度管理

3月6日よりSARS-CoV-2核酸検出検査の診療報酬が認められ、現段階では厳しい実施要件のため、検査件数が爆発的に増加することは考えにくいですが、感染拡大状況の変化によっては検査件数が増大し、遺伝子検査そのものの精度が危ぶまれてきます。

本来、診断用医薬品として承認された診断薬は、精度管理等についても信頼される方法が採用されていると言えますが、現時点でのSARS-CoV-2核酸検出検査は精度管理方法が確率されたものではなく、早急に検査精度を担保すべく精度管理の進め方について検討が必要と考えます。そこで、下記の通り緊急Webミーティングを開催致します。

日 時:3月19日(木曜) 17時30分開始 : 18時30分~19時終了予定

### 開催方法:

1. ディスカッション参加希望の10~20施設を募集します。
2. 検査を実施またはこれから実施を検討している施設の、視聴のみの参加について詳細を学会HPで近日中にお知らせします。

以上により、10~20施設間で討論を行うところをほかの検査担当者に視聴していただきます。

### 募 集:

ディスカッション参加を希望されるご施設は3月17日(火)までに下記事務局までメールでご連絡ください。応募数によっては調整の上、3月18日(水)に事務局よりご連絡いたします。

### 討議内容

司会進行:大塚喜人

### 討論テーマ:

1. 検体採取から検査開始までの保存等の条件
2. 検体からの核酸抽出時の精度管理
3. 核酸増幅・検出の精度管理
4. その他

以上について、討論し何らかの結論を導くことができればと考えています。

### 連絡・問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床微生物学会事務局

TEL : 03-5437-1480

E-mail : [jscm@qk9.so-net.ne.jp](mailto:jscm@qk9.so-net.ne.jp)